

## 34. 山口県 (Yamaguchi Pref.)

作成者: 後藤和夫<sup>1)</sup>; 協力者: 椋木博昭

作成日付: 2002年11月

今回 ランク	判定 方法	前回 ランク	種 名	現在も安定して発生している 産地 (市町村)	現在減少傾向にある産地 (市町村)	絶滅したと考えられる産地 (市町村)	衰退の経過	減少要因	備考(対策・文献など)
EX	ア	V	ヒメヒカゲ	-	-	錦町羅漢山	1992年7月6日1 1 の記録を最後に羅漢山から消えた。草原の開発と採集庄・植生の遷移による	-	-
EX	ア	EX	ヒョウモンモドキ	-	-	錦町三和	1956年6月16日3 3 が県内唯一の記録(標本現存)。当時の湿原地は開墾により消滅	-	-
EX	ア	-	ミドリシジミ	-	-	錦町松の木峠	1956年が初の記録。当時ハンノキは県内側にも見られたが、開発により伐採されて消滅	-	-
EN	オ,ソ, ッ	-	ツマグロキチョウ	錦町	防府市, 岩国市, 阿東町, 光市, 大和町, 秋市, 宇部市, 下関市, 美和町, 美川町, 小野田市	絶滅とは言い難いが、県内全域に渡り壊滅に近いと判断される	県内全域に棲息していたが、最近8年間にデ・タのある市町村は11地区のみ。その記録も数個体しかない。ここまで急速に減少した種は例を見ない	無造作に繰り返し行われた開発事業と、植生遷移からくる食草の衰退が影響している。	レッドデ - タブックやまぐち2002。後藤和夫, 2001a
EN	オ,ソ, ッ	-	クロヒカゲモドキ	安定した発生地はない	徳山市, 錦町, 鹿野町, 阿東町, 大島町	絶滅とは言い難いが、過去の棲息地はいずれも壊滅に近いと判断される	1980年代後半から減少が始まり、現在、いずれの地域でも個体数は散発的となっている。	棲息環境が伐採や植生遷移により失われた	レッドデ - タブックやまぐち2002。後藤和夫, 2001e
EN	ク,ソ, ッ	V	オオウラギンヒョウモン	-	美東町秋吉台, 秋芳町秋吉台, 岩永台	秋市, 阿武町, むつみ村, 徳地町, 光市, 岩国市, 美祿市	1970年頃迄は各地に産地があったが、1980年代に秋吉台周辺に産地が限定される。秋吉台でも年々減少傾向が顕著である	高度成長に伴う開発と、草原の衰退と一時的な採集庄, および採集禁止後の秋吉台で減少が続くのは、草原の維持管理不足	レッドデ - タブックやまぐち2002
EN	ク,ソ, ッ	-	ミナミアカシジミ	-	錦町松の木峠	-	1990年代初頭に亜種とされ、その後の経過観察から減少傾向にある	棲息環境の開発と高原の荒廃	レッドデ - タブックやまぐち2002。神垣健司, 1998。冠高原特産種として特筆され、貴重な種である
EN	オ,ソ, ッ	V	クロシジミ	安定した発生地はない	下松市, 秋芳町, 美東町, 美祿市	徳山市, 豊田町, 豊浦町	1960年代に発見され、1980年代から棲息地が失われ、既存の4地区でも、徐々に減少している	棲息環境が伐採や野焼などにより失われた。また、植生遷移からクロオオアリが住めない環境となった	レッドデ - タブックやまぐち2002。後藤和夫, 2000b
EN	オ,ソ, ッ	V	ヒメシジミ	-	錦町羅漢山	錦町松の木峠, 河津峡	1970年代に発見された。1980年代中頃から減少が始まり、現在、僅かの個体しか発見できない	観光開発により棲息地が破壊され、それに伴い湿原草原が荒廃	レッドデ - タブックやまぐち2002。後藤和夫, 2000a
EN	オ,ソ, ッ	R	ホシチャバネセリ	-	錦町松の木峠, 羅漢山	秋市, 川上村, 徳地町, 鹿野町, 美和町, 阿東町	1960 - 1970年代に発見された。1980年代中頃から衰退が始まり、現在、錦町の一部に見られるのみ	棲息環境の荒廃	レッドデ - タブックやまぐち2002。後藤和夫, 2000a
EN	オ,ソ, ッ	-	ヘリグロチャバネセリ	-	錦町松の木峠, 羅漢山	徳山市, 鹿野町, 徳地町, 阿東町	1980年の中頃は産地では個体数も多かった。1990年代に入り、棲息地は僅かに限定される	高原の開発に伴う荒廃と植生遷移により棲息地が失われた	レッドデ - タブックやまぐち2002。後藤和夫, 2000a
EN	ク,ソ, ッ	V	コキマダラセリ	-	錦町松の木峠, 羅漢山	-	1960年代に発見された。1980年代後半から衰退が始まり、年々減少傾向が強くなっている	棲息環境の開発と高原の荒廃	レッドデ - タブックやまぐち2002。後藤和夫, 2000a
EN	オ,ソ, ッ	-	ミヤマチャバネセリ	-	錦町山間部, 鹿野町山間部, 阿東町山間部, 徳地町山間部	絶滅した産地は特定できていない	1980年代後半から棲息地の山間部で減少が見られる	林道がアスファルト舗装されたり、開発により棲息地が失われた。放置されたことにより植生遷移が進行したこと	レッドデ - タブックやまぐち, 2002
VU	カ,タ, テ,ニ	R	ギフチョウ	-	岩国市, 由宇町, 柳井市, 田布施町, 周東町, 玖珂町, 大和町, 熊毛町, 光市, 徳山市, 阿東町, むつみ村, 福栄村	秋市, 美和町	1980年代に各地で減少した。特に山陰側で顕著である	植生遷移, 食草の採取, 採集庄	レッドデ - タブックやまぐち2002。渡辺一雄ほか, 2000。田布施町飛地小行司地区天然記念物(2001.3.6)。林芳明(編), 2000。光市溪月院一帯採集自瀧, 熊毛町八代地域で保護活動
VU	カ,チ, ト	-	ウラナミジャノメ	宇部市, 小郡町	秋芳町秋吉台, 美東町秋吉台	-	1980年代後半から秋吉台などの一部の地域で減少が見られる	草原の維持管理が悪く、草原の荒廃に伴う生息環境の悪化	レッドデ - タブックやまぐち, 2002。後藤和夫, 2001c
VU	ケ,タ, テ	R	オオヒカゲ	-	錦町松の木峠	錦町羅漢山	1980年代後半から減少傾向にある	発生環境が放置され、植生遷移が進行した。観光開発により棲息地が破壊された	レッドデ - タブックやまぐち2002。後藤和夫, 2000a
VU	カ,タ, テ	-	ウラギンズジヒョウモン	-	秋芳町秋吉台, 美東町秋吉台, 徳地町長者ヶ原, 錦町羅漢山	絶滅とは言い難いが、多くの既産地で確認困難となっている	1980年代後半から減少が始まり、現在いずれの既産地でも確認が難しくなっている	開発により里山的環境が失われたこと、放置され植生遷移が進み棲息地が失われたこと、採集禁止後の秋吉台に減少が続くのは草原の維持管理不足	レッドデ - タブックやまぐち2002。後藤和夫, 2000a

## 34. 山口県 (Yamaguchi Pref.)

作成者: 後藤和夫<sup>1)</sup>; 協力者: 椋木博昭

作成日付: 2002年11月

今回 ランク	判定 方法	前回 ランク	種 名	現在も安定して発生している 産地 (市町村)	現在減少傾向にある産地 (市町村)	絶滅したと考えられる産地 (市町村)	衰退の経過	減少要因	備考(対策・文献など)
VU	ス,タ, ニ	-	クモガタヒョウモン	-	県内全域で減少傾向にある	-	1990年代に入り減少傾向が加速された	棲息環境の荒廃	-
VU	コ,チ, ト,ヌ	V	ル - ミスジミ	川上村	-	-	1970年から1980年にかけて一部の棲息地で伐採が進み、棲息地が失われた。	棲息地が局地的に伐採されたこと。また、マニアによる採集圧	レッドデ - タブックやまぐち2002
VU	ケ,タ, テ	R	ウスイロオナガシジミ	-	錦町松の木峠	-	1990年代に入り減少傾向が顕著となる	棲息環境の荒廃と伐採	-
VU	ケ,タ, テ	V	カラスシジミ	-	阿東町	-	1990年代に入り減少が顕著となる	食樹が伐採された	レッドデ - タブックやまぐち, 2002
VU	コ,タ, テ	V	ミヤマカラスシジミ	-	錦町山間部	-	1980年代後半から棲息地で減少傾向にある	伐採により、一部の棲息地が失われた	レッドデ - タブックやまぐち, 2002
VU	カ,タ, テ	V	シルビアシジミ	宇部市	秋芳町秋吉台, 美東町秋吉台, 阿知須町, 岩国市	絶滅とは言いがたいが、多くの既産地で減少傾向にある	1980年代後半から減少傾向にあり、現在一部地域では確認が難しくなっている	各種開発工事、農地の改良、植生遷移により棲息地が失われた	レッドデ - タブックやまぐち2002・後藤和夫, 2001d, 2002
VU	ス,タ, テ,ニ	V	クロツバメシジミ	-	下関市, 蓋井島, 東和町, 豊浦町	-	1980年代後半から減少傾向にある。現在、下関市や東和町の産地は厳しい状況下にある	食草の採取と棲息地の風化や開発。また、マニアによる乱獲が行われた	レッドデ - タブックやまぐち2002・後藤和夫, 1999a
VU	カ,タ, テ	R	ギンイチモンジセセリ	-	錦町松の木峠, 宇佐, 横原, 秋芳町秋吉台, 美東町秋吉台, むつみ村高佐上	阿東町徳佐, 鹿野町葉ノ内, 徳地町長者ヶ原, 徳山市須万, 錦町羅漢山	1980年代後半から各地で減少が見られ、安定していた秋吉台でも個体数の変動が激しい	草原の開発と棲息環境が放置され植生遷移が進んだため	レッドデ - タブックやまぐち2002・後藤和夫, 2000a, 2001b
VU	カ,タ, テ	-	スジグロチャバネセセリ	新南陽市	錦町松の木峠, 羅漢山, 徳山市各地, 阿東町徳佐, 徳地町長者ヶ原, 鹿野町各地	-	1980年代後半から減少が見られ、現在、棲息している場所でも個体数は少ない	開発により草原が失われたこと。草原が放置され植生遷移が進んだため	レッドデ - タブックやまぐち2002・後藤和夫, 2000a, 2000c
VU	ス,タ, テ	R	キバネセセリ	-	錦町松の木峠, 河津, 寂地山, 向峠, 平家ヶ岳, 羅漢山	-	もともと少ない種であったが1990年代に入り、更に減少傾向が見られる。	伐採により食樹が失われた影響が大きい	レッドデ - タブックやまぐち2002・後藤和夫, 2000b
NT	サ, チ, ト	R	スジボソヤマキチョウ	錦町寂地山系	阿東町徳佐, 徳地町	-	1980年代中頃から減少が見られる	棲息地が森林開発により伐採されたことによる	レッドデ - タブックやまぐち, 2002・後藤和夫, 1999b, 2000d
NT	ス,タ, ニ	-	ウラギンヒョウモン	-	県内全域の棲息地で減少傾向にある	-	1990年代に入り減少傾向が加速された	棲息草原の荒廃と喪失	レッドデ - タブックやまぐち, 2002
NT	キ, チ, ト, ヌ	R	ホシミスジ	大島郡一帯	大島町源明峠	-	1980年代後半から減少傾向にある	棲息地が植生遷移により荒廃した。一部、採集圧	レッドデ - タブックやまぐち, 2002・後藤和夫, 1999c
NT	キ, チ, ト, ヌ	-	オオムラサキ	錦町山間部	23市町村とも全般に減少傾向にある	萩市	1980年代から県内全域で減少傾向にある	クヌギを主体とした雑木林が全県的に減少したこと	レッドデ - タブックやまぐち, 2002・後藤和夫, 2000e
NT	サ, チ, ト, ヌ	R	ウラキシジミ	錦町寂地山系	錦町深谷部	-	1980年代後半から減少傾向にある	棲息地が森林開発により伐採されたこと、採卵ブームにより食樹が切られた。現在、回復のきざしあり	レッドデ - タブックやまぐち, 2002・後藤和夫, 1999b, 2000d
NT	サ, チ, ト, ヌ	R	ウラクロシジミ	錦町寂地山系	錦町山間部	-	1980年代後半から減少が見られる	棲息地が森林開発により伐採されたこと、採卵ブームにより食樹が切られた	レッドデ - タブックやまぐち, 2002・後藤和夫, 1999b, 2000d

1) 〒759-0207 山口県宇部市厚南七区平和町